

北海道の未利用資源・地域課題と道外企業のマッチングセミナー 「サステナブルな地方創生を共創せよ」開催

2024 年 12 月 18 日（水）15 時 00 分～19 時 30 分

北海道において産学融合によるオープンイノベーション創出を目指すチャレンジフィールド北海道（北海道札幌市、事務局：（公財）北海道科学技術総合振興センター（略称：ノーステック財団））は、北海道の地域の新たな価値となりうる「未利用資源・地域課題の事業化」に向け、サステナビリティをテーマとした道外企業とのマッチングセミナーを 2024 年 12 月 18 日（水）に開催します（参加費無料）。登壇者には、道内 6 地域から未利用資源活用や地域課題解決に取り組む 6 事業者を迎え、参加者とのミートアップを行います。共催および会場提供は、北海道と日本をつなぐ“出島”として価値ある「つながり」が生まれる空間を目指すインキュベーション施設「EZOHUB TOKYO（東京都品川区、運営会社：サツドラホールディングス株式会社）」です。

加えて、2025 年 1～3 月には、セミナー登壇者の活動する地域を訪問し、未利用資源や地域課題に触れられるツアーも開催します。



ねらい：サステナビリティをテーマとした新事業創出のきっかけづくり＋ネタ以上に重要な「人」をマッチング

北海道は 16 年連続で都道府県魅力度ランキング 1 位（※）を誇る一方、地域における人口減少には歯止めがかからず、産業維持も困難になりつつあります。経済産業省「産学融合拠点創出事業（J-NEXUS）」に 2020 年に採択されたチャレンジフィールド北海道では過去 4 年間、道内各機関と連携し地域課題解決を目的とした新事業創出支援を行ってきました。

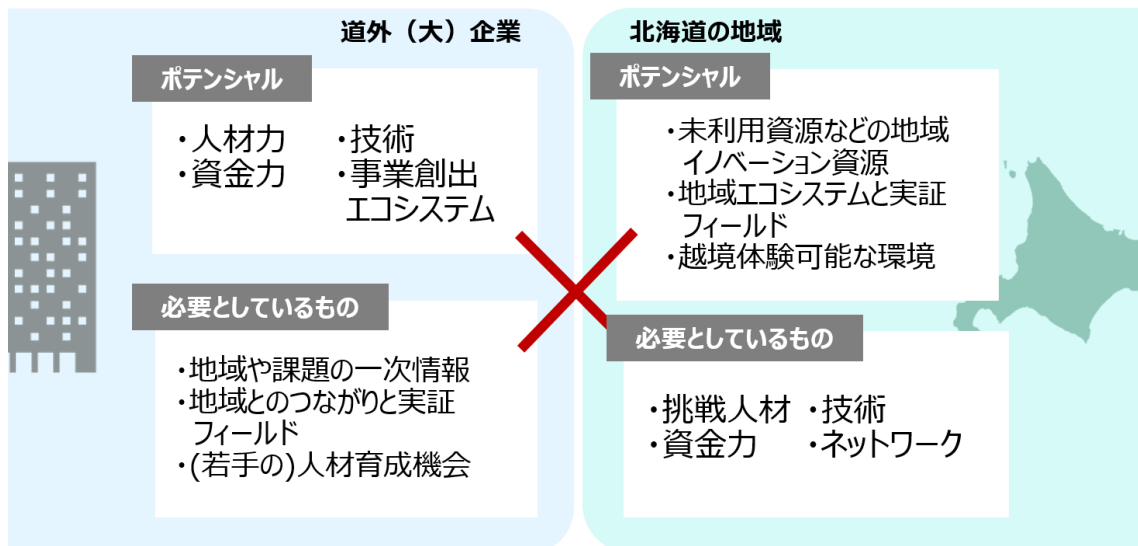
道内外企業とコミュニケーションを重ねるなかで、北海道に当たり前に賦存する未利用資源や地域の一次情報が道外企業にとっては魅力あふれる可能性であること、逆に道外企業に揃っている人材力・技術等には北海道の地域からはアクセスが容易ではないことがわかってきました。そこで今回、相補相乗効果が期待できる北海道の地域と道外企業をマッチングし、連携の検討を進めることで、新事業創生と地域課題解決による地方創生を目指します。

（※）ブランド総合研究所調べ

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

（公財）北海道科学技術総合振興センター 事業戦略統括部（チャレンジフィールド北海道） 担当：住吉・和田

TEL：011-792-6151 MAIL：yugo@noastec.jp



事業化に向け、ネタや情報、場（機会）と同様に重要なのが「人」です。地域課題を抱える「誰」とやるのかは、事業の成否を分けるといっても過言ではありません。今回登壇をお願いしたのは、チャレンジフィールド北海道が4年間の地域ヒアリングや取り組みのなかで出会った方々です。その熱意や取り組み姿勢、実績には自信をもってみなさまにご紹介いたします。

セミナー概要：「サステナブルな地方創生を共創せよ」について

【開催概要】

イベント名：「サステナブルな地方創生を共創せよ」

開催日時：2024年12月18日（水）15:00～19:30

会場：EZOHUB TOKYO（東京都品川区東品川2丁目2-28）

参加費：無料

定員：50名（先着順）

主催：チャレンジフィールド北海道

協力：経済産業省北海道経済産業局、北海道、EZOHUB TOKYO

詳細：<https://challenge-field-hokkaido.jp/news/3136>

【プログラム】

15:00～15:10 オープニング

15:10～17:00 セミナー「6名の登壇者による北海道の未利用資源・地域ポテンシャルの紹介」

17:30～19:00 ミートアップ「脱・名刺交換！リアルマッチング」

19:00～19:30 名刺交換

※ミートアップはセミナーを踏まえた内容となるため、オープニングからのご参加をお勧めいたします。

【参加者イメージ】

■道外（大企業）の参加者

・新規事業開発担当者：

「サステナビリティ」や「地方創生」をテーマにしたい方、リアルな一次情報を得たい方、現場とのつながりが欲しい方

・実証フィールドを探している方：北海道の広大・冷涼な地域で実証実験をしたい方

・人材育成の一環として活用したい方：人材育成の観点で、社員に越境体験をさせたい方

■スタートアップ関係者

■地域課題や地域創生といったテーマに関心のある学生

※ご関心・ご興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

（公財）北海道科学技術総合振興センター 事業戦略統括部（チャレンジフィールド北海道） 担当：住吉・和田

TEL：011-792-6151 MAIL：yugo@noastec.jp

【お申し込み方法】

イベント申し込みページ (<https://forms.gle/3EhCQKFqBEDD9gcDA>) より
必要事項を記入しお申し込みください。



登壇者紹介

登壇いただく 6 事業者は、チャレンジフィールド北海道が 4 年間の活動のなかで掘り起こしてきた「本気の人材」です。地域と真摯に向き合い活動を継続する中で、域外との連携を強く求めています。

山本 紘之さん

山本浄化興業(株) 代表取締役

- エリア : 苫小牧市 (とまこまいし)
- 事業内容 : 一般廃棄物・産業廃棄物等の処理、水質分析、浄化槽保守点検、路面清掃等
- ポイント : (一社)苫小牧タウンマネジメント理事として、地域企業や自治体と連携したまちづくりを行う。苫小牧でのスタートアップ育成プログラムにも従事。
- 話題 : 工場地帯からの廃熱、ホッキ貝殻の活用



藤本 達也さん

渡邊清掃(株) 代表取締役／(株)バイオマスソリューションズ 代表取締役

- エリア : 別海町 (べつかいちょう)
- 事業内容 : 一般・産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の中間処理及び高度な技術による排水施設の清掃業務【渡邊清掃(株)】
バイオマス利活用技術の研究・開発、飼料・肥料の製造販売等【(株)バイオマスソリューションズ】
- ポイント : 清掃業に従事し気づいた課題解決のため、(株)バイオマスソリューションズを立ち上げる。
2024 年野球の独立リーグチーム「別海パイロットスピリッツ」を立ち上げ、交流人口増加による地域活性化に取り組む。
- 話題 : 道東の一次産業由来のバイオマス



伊吾田 順平さん

NPO 法人西興部村猟区管理協会 事務局長

- エリア : 西興部村 (にしおこっぺむら)
- プロフィール :
1974 年生まれ。神奈川県横浜市出身。北海道西興部村在住。NPO 法人西興部村猟区管理協会の事務局長。2006 年から猟銃を所持し、同猟区のスタッフに、2007 年から現職。猟区制度を利用してエゾシカの地域主体資源管理を行っている。主な事業はガイド付きハンティング、人材育成、環境教育、調査研究。ハンティングガイドとして年間約 100 名のゲストハンターをガイドし、年間 300 頭以上のシカの捕獲に携わる。
- 事業内容 : エゾシカの個体数管理、ガイドツアー・エコツアー開催、ハンター育成
- ポイント : 横浜からの移住者。村外からの学生・団体等の受け入れを行い、地域の魅力を発信している。
現在、丸の内朝大学でもエゾシカ課題や自然環境に関する講義を行う。
- 話題 : エゾシカの地域管理



＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

(公財) 北海道科学技術総合振興センター 事業戦略統括部 (チャレンジフィールド北海道) 担当 : 住吉・和田

TEL : 011-792-6151 MAIL : yugo@noastec.jp

立花 恵さん

北るもい漁業協同組合 女性部副部長

■エリア：羽幌町（はぼろちょう）

■プロフィール・事業内容：

10 年前に配偶者が一念発起して新規漁業従事者となり、たこ・にしん・ひらめ・なまこ・まぐろを中心とした漁業に日々携わりつつ、北るもい漁協女性部副部長を務める。元小学校教員であり、教育環境や暮らし全般の課題にも精通。町外出身者でありヨソモノの視点を持ちながら、愛あふれるパーソナリティで地域コミュニティのハブとなる、頼れる存在。

■話題：気候変動を起因とする魚種の変化による未利用資源の現状



岩井 宏文さん

(株)積丹スピリット 代表取締役／(株)GB 産業化設計 代表取締役

■エリア：積丹町（しゃこたんちょう）

■事業内容：積丹のボタニカルガーデンから採れた植物を活用したジンの製造販売、積丹町まちづくり

■ポイント：農林水産分野の事業化を推進する(株)GB 産業化設計の代表として、積丹町から地方創生交付金事業の調査業務を行っていたところから、自身が代表取締役として(株)積丹スピリットを創業。積丹の地域資源活用によるまちづくりに深く関わる。

■話題：地域資源の切り出しから自然環境再生への道のり



井田 芙美子さん

(株)いただきますカンパニー 代表取締役

■エリア：帯広市（おびひろし）

■プロフィール：

日本初の「畑ガイド」／HBC 北海道放送テレビコメンテーター／北海道みらいチャレンジ事業パートナーズリーダーなど審査員多数。食を通じて子どもたちが未来へ生き抜くチカラを育むことを目的に、2012 年創業。生産現場を見学できるガイドツアー「農場ピクニック」が話題を呼び、首都圏や海外から多くの旅行者が訪れ感動の声が寄せられている。台所を通した子育てや女性起業家の応援など人材育成にも力を入れてきた。「いる人とあるモノで何とかする」が信条。

■事業内容：畑をガイドしてそこで取れたものを食べる「農場ピクニック」、ロール転がしなど北海道ならではのオリジナル競技を織り交ぜた「アグリナピック」など、食に関わるアクティビティの企画開発運営。

■ポイント：収穫体験にこだわらず農村景観をガイドするという発想により時期や天候を選ばずツアーが可能に。ガイド養成や一次産業現場でのツアー開発について相談が寄せられる。

■話題：女性やシニアなど地方で埋もれた人材を活用した観光商品開発



【2025 年 1 ～3 月開催予定】現地ツアー「五感で感じる未利用資源と地域課題」

12 月 18 日の参加者を対象に、登壇者の活動地域に足を運び、地域の現状について五感を通じて情報収集することをサポートします。地域で働く人・住む人との交流を通じて課題の解像度を上げるとともに、地域との関係性を築きます。詳細は 12 月 18 日（水）にご紹介します。

＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

（公財）北海道科学技術総合振興センター 事業戦略統括部（チャレンジフィールド北海道） 担当：住吉・和田

TEL：011-792-6151 MAIL：yugo@noastec.jp

チャレンジフィールド北海道（事務局：（公財）北海道科学技術総合振興センター）について

経済産業省「産学融合拠点創出事業（J-NEXUS）」に採択され、2020年9月に始まった5年度事業です。従来の産学連携を超えた取り組みによりイノベーション創出を目指します。

【総括エリアコーディネーター】山田 真治（㈱日立製作所）

- ビジョン：「将来世代のために、共感と共創でつながる、希望あふれる北海道の創生」
 - ミッション：新事業創出と地域課題解決／オープンイノベーション・コミュニティの創出
 - アクション：①地域活性化支援／②スタートアップ創出支援／③共創支援プラットフォーム構築
- HP：<https://challenge-field-hokkaido.jp/>



【事務局】公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）



■財団概要

北海道経済の成長を支える“産業クラスター創造”に向け、「研究開発から事業化までの一貫した支援」を活動理念として、産学官連携による産業創出基盤の構築、研究成果の実用化・事業化支援、個別プロジェクトによる新事業・新産業の創出に取り組んでいます。

財団名称	公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター 略称：ノーステック財団（NOASTEC）
代表者	理事長 藤井 裕
基本財産	4,807 百万円（2024 年 4 月現在）
役員等	評議員 8 名、理事 14 名（うち常勤 4 名）、監事 2 名（2024 年 4 月現在）
職員数	47 名（2024 年 4 月現在）
所在地	【札幌オフィス】札幌市北区北 21 条西 12 丁目 北海道大学構内 【幌延研究所】天塩郡幌延町栄町 5 番地 3
HP	https://www.noastec.jp/

EZOHUB TOKYO について

EZOHUB は札幌と東京の 2 か所に拠点をもちインキュベーション施設です。EZOHUB TOKYO は道内自治体／企業／教育機関の都内拠点として、またこれらステークホルダーとの出会いや共創を目指す方々との出会いの場として、2024 年 5 月にオープンしました。ワークスペースやイベント会場といったハードの要素に加え、データベース活用などオンラインとオフライン双方において「北海道と日本をつなぐ“出島”」の役割を担っています。



■施設概要

名 称：EZOHUB TOKYO（エゾハブトウキョウ）

住 所：東京都品川区東品川 2-2-28

アクセス：東京モノレール「天王洲アイル」駅徒歩 4 分

りんかい線「天王洲アイル」駅徒歩 5 分

面 積：約 458 m²

営業時間：平日 9:00～19:00 祝 9:00～18:00（土曜・日曜休館）

詳細：<https://ezohub.jp/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

（公財）北海道科学技術総合振興センター 事業戦略統括部（チャレンジフィールド北海道） 担当：住吉・和田

TEL：011-792-6151 MAIL：yugo@noastec.jp